

SSKP
はばただより
vol.121



桜のつぼみが日に日に大きくなり始め、井の頭公園では例年より早めの花見客で賑わい始めた3月末、さくらハイツ（グループホーム）では改修工事が終了しました。改修工事によって定員が5名から7名となり、2名の増員が可能となりました。またさくらハイツでは、入居者の皆さんと世話人さんが協力して、誕生日会やクリスマス会など、ささやかながらも沢山の笑顔が集う催しを行っています。これからの季節…何と言ってもまずは暑気払いでしょう！工事も無事終わったことですし、今年は例年以上に、みんなで盛り上がりましょうか！？



社会福祉法人おおぞら会

小規模多機能型居宅介護



今年の1月、野ざきの家が雑誌に掲載されました！

掲載された雑誌は「月刊ケアマネジメント 2013年1月号(環境新聞社)」で、主にケアマネジャーの皆さんが購読されている雑誌です。少し専門的な雑誌なので、なかなか書店などで手に取っていただく機会はないかと思いますが、野ざきの家のことだけではなく、おおぞら会の取り組みについて記者の方が丁寧にまとめて下さいました。ここに全文を掲載することは紙面上難しいので、その内容の一部をご紹介します。ここに書いていただいたような“おおぞら会の思い”をこれからも大切に、職員一同頑張っ参りたいと思います。

(管理者 西田さおり)

小さな介護の現場から 第16回 「小規模多機能プラス、障害の作業所 目指すはみんなの“よりどころ”」

☆“介護”を入りに 支援求める誰もが集える場所を

2011年夏にオープンした「野ざきの家」は、おおぞら会が初めて立ち上げた介護保険事業所。法人理事長でルーテル学院大学教授の西原雄次郎さんは、「当事者が年老いても、いきいきと地域で暮らしていくことを大切にしたいから」と語る。長年障害者福祉にかかわってきた西原さんは、かつて市内のある地域に知的障害者のグループホームを立ち上げようとしたことがあった。だが住民から猛反対を受けてしまう。「理由は“何をされるかわからないから”というものでした。思い込みで拒否されることほど辛いことはなかった」と振り返る。

それならば、介護と言う誰もが通る道を入りにして、誰かの助けを必要とする人が一人でも多く利用できる“よりどころ”を作ろう——介護保険事業参入は、西原さんの悲願でもあった。

☆一匹の犬がつかないだ 障害者とお年寄りのきずな

ちょうど昼食時。テーブルについた利用者の足元を、ふさふさした毛並みの犬が駆け回る。マスコット犬「くう」だ。

「利用者がサービスを“受ける”だけでなく、世話や見守りをする側にもまわれるように」と、スタッフみんなで考えて飼うことにした。

食後はリビングでくつろぐお年寄りに甘えたり、トイレの誘導にぴったりくっついていたり、とてもかわいらしい。

くうは隣の食堂や、2階の作業所で働くスタッフにも人気だ。休憩時間になると、一緒に遊ぶために野ざきの家を訪ねてくる人も多い。この日も食堂で働く青年が訪れ、くうと一緒に庭へ出て行った。いすに腰をかけたお年寄りが「遠くへ行くなよ」と声をかける。

「当初は、周囲に注意を払うことができない障がいのある人を頭ごなしに叱る利用者もいました。」それでもスタッフが何度も説明したり、一緒にくうと触れ合う中で、その態度も穏やかなものに変化していったという。

「認知症が進み感情表現が乏しかった方も、ここを利用し始めてからはよく笑い、昔話をされるようにもなりました。」たくさんの来訪者が刺激になり、それが社会性を取り戻すことにつながっているのではないかと管理者は語る。最近では、うどん店を利用するお客さんが子どもを連れて訪れ、野ざきの家の利用者と交流することもあるそうだ。開設から1年、一人でも多くの人にとってのよりどころをという西原さんらの思いは、すでに実現し始めている。



♪記事全文をご覧になりたい方はお気軽に野ざきの家までお問い合わせ下さい♪

サポートネットあすは &あすはKids

移動支援・居宅介護事業
放課後等デイサービス

～地域で暮らす人々と関わって～



「あすは」には、ガイドヘルプはほとんど使っていない方々も関わっている方がいます。今回はそんな方々のことを紹介したいと思います。

心配事があると「あすは」に来て、ことの一部始終を話すAさん(男性)。最近も年度が変わり、自分が通う通所施設で職員の異動があったり、新しい利用者が入ったりしたことがあって落ち着かず、自分の不安な気持ちを話しにきました。一通り話を聞いてもらうと多少すっきりしたのか、落ち着いてきました。落ち着くとガイドヘルプの依頼もついでに？して帰って行きました。

野球好きのBさん(男性)。この方も時々「あすは」に寄り、ファンであるプロ野球チームの話を熱心に行います。時々通勤途中で会うと時間を忘れて野球の話しをしています。「仕事の時間は大丈夫？」と聞くと「あーそうだったね」と言って仕事に向かっていきます。普段はほとんどガイドヘルプを使わないBさんですが年に一度、自分が応援しているプロ野球チームのファン感謝デーだけはガイドヘルプを依頼してきます。いつも一人で行動していることが多いBさんですが、やっぱり誰かといっしょに好きなチームを応援したいのだと思います。

よく「あすは」に電話をかけてくるCさん(女性)。話す内容は今はまっているドラマのこと、携帯電話のこと、職場のことなど雑談がほとんどです。とても楽しく話し好きなCさんですが、雑談の端々に今抱えている悩みや、問題？みたいなことが垣間見られます。仕事のこと、人間関係のこと…。問題が解決するわけではありませんが、話すことで気持ちが楽になるようです。私が電話に出るといつも「～さんいる？」と聞かれます。私は話し相手としてはイマイチ(笑)なようです。

時折ふらっと「あすは」に来てお茶を飲み、鉄道の本や地図をみたり、ごろごろと寝ころんだりして過ごしているDさん。何をしてもないのですが「あすは」が落ち着く居場所になっているようです。Dさんには独特の和やかな雰囲気があり、職員の気持ちをほんわかしたものにしてくれます。しばらく来ないと「Dさん最近来ないねー。何してるのかなあ」といった会話が職員間で交わされます。

様々な人にとってのたまり場のような場所になっていくことも「あすは」の役割だと考えています。これからも地域で暮らす人々と関わり、寄り添いながら共に歩んで行けたらと思います。

(管理者 立野信行)

…卒業…
社会へ一歩

3月30日「さくら会」と称してあすはKidsの卒業式を行いました。当日はケーキやピザでパーティーをしました。

ピザは子どもたちのなかの一人が宅配ピザ屋さんに電話をし、注文をしました。みんなもう立派な社会人、感慨深いです。





～ 工房 時 ニュース ～

就労移行・就労継続B型

新メンバーの紹介です！

新年度が始まり、新たに店舗部のメンバーが1名増えました、のさかさんです！
店舗部では初めての女性メンバーで、元気いっぱいに仕事を頑張っています。
ご本人から抱負をいただきました。これからもよろしくお願いしますね！

さて、職員の顔ぶれにも少し変化があります。ト部がはばただけに異動し、宮城が店舗部担当になりました。新規に製麺部に石川、調理部に藤田が加わっています。
作業風景とコメントを合わせてどうぞ！



はじめまして。4月下旬から働いています。
基本的に不器用なので、まずはみなさんに
色々教わりながら慣れていきたいと思っ
ます。よろしくお願いいたします。(石川)



毎日「美味しかったです」「ごち
そう様でした」に励まされています。
皆さんの元気を支えられるように
頑張ります。どうぞよろしく！
(藤田)

がんばります！
のさかさん (作画：ト部)

新しい部門に入って早1か月。まだ
まだ慣れぬ日々が続いております
…。4月から新しいメンバー・職員
も入り心機一転。ますます頑張っ
ていきますので、工房 時をよろしく
お願いします！ (宮城)

○ 地域とのつながり



おもむく食堂は「就労移行支援事業」の活動の場ですが、私達はこの食堂にもう一つの思いを込めています。それは、**地域の方たちとの交流の場でありたい**ということです。今回は、日頃からご来店いただいている常連の方々に、うどんの味やメニューについてコメントをいただきました。

- 「うどんのコシがよくておいしいです、天ぷらもサクサクです。お店に来ると、いつも生麺を買って帰ります。自宅でもかんきつ類と合わせて食べています」…テルウェル多摩東・高尾さま
- 「安くて、すごくおいしいですね」…長谷川さま
- 「お店に食材を配達しています。コシがあっておいしい。白いご飯が食べたいとの要望が実現して嬉しいです。今後も新メニューを期待してます。個人的には、おそばも食べたいかな～」…島野青果さま



開店から2年ほどたち、御縁のある方々が少しずつ増えています。これからもお客様の声を聞き、地域に根差した活動を目指します。この次のおたよりでは、工房時と地域の関わりを探っていくインタビュー第二弾を掲載予定です。ご期待ください！



みなさま
コメントのご協力
ありがとうございました。
今後ともよろしく
お願いします！

(事務責任者：中野)

アクティビティセンター はばたけ

新しい年度が始まり、はばたけには、社会人として一步を踏み出された18歳のフレッシュなお二人が入所されました。そしてこの1か月で見てきたのは、利用者同士のあたたかな眼差しややさしさの交流でした。新しい場所、顔ぶれに戸惑い、不安をつも一生懸命自分の足で前へ進もうとする新しいお二人の姿が、他の利用者の方々の心を動かしたようにも思えます。



いっしょに走ろう！

ちょっと立ち止まっていると「おいでよ」「いっしょにやろう」とさりげなく背中を押し、時間がかかっているときはそっとそばにいて「うんうん、がんばれ」と見守り、楽しむときは手を取って一緒に笑う…というように、自分なりの精いっぱいコミュニケーションを駆使して、あたたかい関係を自らで築こうとしている利用者の方々の姿には、はばたけで大切にしていることが集約されているようで、見守る職員もうれしい気持ちになります。つながる実感や一歩前に出ることができた自信…新しい方も迎える皆さんも、それぞれの中に喜びが芽生えた4月になったのではないかと思います。



ねえねえ、桜がきれいだね

とはいえ、4月は施設の中でも再編成があり、変化が苦手な方や新しい関係に戸惑う利用者さんもいて、まだまだ落ち着いたさもあるはばたけです。それでも生活介護事業に移行して2年目となるので、今年度は活動の広がり地域との交流という課題に向けて、利用者のパワーをもらいながら、さらに前進していきたいと思います。

(管理者：入倉暁子)

助成をいただきました

平成24年度事業助成の交付を受けました。ここに事業完了のご報告を申し上げますとともに感謝の意を表します。

- 公益信託西村良枝記念 知的障害者福祉基金
助成金額 11万円
事業名 冷温両用ウォータークーラー

- 財団法人郵政福祉(三鷹深大寺郵便局)
助成金額 179,340円
事業名 パソコン等一式



大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。

グループホームの日常

～さくらハイツ編

おおぞら会2カ所目のグループホーム「さくらハイツ」では、現在5人の入居者さんが生活しています。工房 時や街かど自立支援センターを始め、それぞれの職場で仕事をしながらさくらハイツで暮らしています。

朝食の時間、夕食の時間等大まかな時間の流れは共通していますが、出勤時間や帰宅時間は一人一人違ってくるので、世話人としては『出来るだけ暖かい物を！！』という思いを胸に秘めつつ、気が付けば味噌汁がゴボゴボと沸騰していたりする…そんな場面もたまにはある日々です。

♣「今日トランプできる？」

♣「今日は時間がないので、明日はどうですか？」

♡「私今日できるよ。夕方やろう！！」

共有スペースのリビングでは、テレビを見てくつろいだり、トランプやUNOをして各自が楽しむ姿も見られます。世話人が主体となって、「今日はこれをやりましょう！」と言うことはありません。それは、花見やその他のイベントごとに関しても同じで、あくまでもさくらハイツで生活している方々主体で、物事が運んでいきます。そのために行っているのが“グループミー



かたいじゃが芋
だなあ…
石ころ食ってる
みたいだ…

…ほとんど
味がしないみたい…

あゝあ…
また魚か…
たまには
ステーキとか
食いたいよな



晴れるといいですね。僕は買い物にでもいきますよ！

…明日は井の頭公園を散策するんだ。



ティング”（これは世話人主体）です。奇数月の第4日曜日、1～2時間程の時間をかけて各自が持ち寄った議題に基づき進行していきます。「皆で外出してみたい！」「もう少しゆっくりお風呂に入りたい！」「生活の中でこれが気になる！」等々日頃の生活をふり返り、自分の暮らしをより自分らしくするためにどうしたら良いか、またどのように自分とは違う考え方をしている人と折り合いをつけながら生活していけば良いかを、世話人として提示させていただきながらも、皆で考えて意見を出し、話し合います。

さくらハイツが皆さんにとって、居心地の良いホッとした場所であり続けますように！

グループホーム世話人 南川雄造

おおぞら会後援会ニュース



青葉が目眩しいこの頃、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、5月26日におおぞら会後援会の総会を行います。今後の後援会事業の具体的方策を皆様と共にまとめ、新たに想いを一つにしていきたいと思っています。おおぞら会の事業を地域に広め、運営を安定させるための資金を集める大きな役割として、新たな展開を考えていきたいと思っておりますので、どうぞ会員の皆様のお力をお貸しいただければ幸いです。

地域に根差した法人・事業を目指し歩み続けていくおおぞら会と、それを支える後援会を今年度もどうぞ宜しくお願いいたします。

社会福祉法人おおぞら会後援会会長 吉野 壽夫

★後援会新規ご入会・ご更新（敬称略）

(2012.11/23~2013.3/31 集約分)

個人143名、団体2社よりご入会・ご更新のお手続きをいただきました。

ありがとうございました。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

★後援会へ寄附（敬称略）

個人27名、団体2社より、後援会へご寄付をいただきました。

ありがとうございました。

★法人・各事業所・千人会へ寄附（敬称略）

個人40名、団体4社より、ご寄付をいただきました。

ありがとうございました。

ありがとうございました。後援会費、ご寄付は大切に活用させていただきます。

後援会ご更新の時期になります。新規の方もこの時期にぜひご加入ください。

だより郵送の方には、同封の振込用紙にて受け付けております。よろしくおねがいいたします。



おおぞら会後援会 総会

5月26日(日) 会場:アクティビティセンターはばたけ

総会 15:00~ 親睦会 16:00~



会場へお越しの際は、公共機関をお使いください。お問い合わせは 0422-30-5571 まで。

information

利用者を募集しています！

おおぞら会では、法人内の施設の
利用者を募集しています。



● 野ざきの家(小規模多機能型居宅介護事業)

- * 介護保険が利用できます。
- * 小規模多機能型居宅介護とは「通い」を中心に「宿泊」「訪問」を組み合わせ利用できるサービスです。
 - ・三鷹市(武蔵野市・調布市)にお住まいの方
 - ・要支援1,2 要介護1～5の認定を受けている

● 工房 時(就労移行・就労継続B型)

- * 障がいのある方の通所施設です。(送迎サービスはございません)
- * 「働きたい」という思いをもった方に「仕事」を提供し、工賃をお支払します。
 - ・製麺、お菓子工房、調理補助などの仕事をやってみたい方
 - ・就労をめざしている方

● さくらハイツ(グループホーム・ケアホーム)

- * 障がいのある方のアパートタイプの住まいの場です。(定員7名)
- * 世話人が生活支援をおこないます。
 - ・障害程度区分の認定を受けている方

募集人数はそれぞれ若干名です。詳細は、各施設までお問い合わせください。

各施設の状況につきましては、おおぞら会ホームページ

<http://oozora.or.jp/> からご覧ください。

社会福祉法人おおぞら会

・アクティビティセンターはばたけ(生活介護事業)	三鷹市野崎 3-17-9	tel 0422-32-3234
・工房 時(就労移行事業・就労継続B型)	三鷹市野崎 2-6-41	tel 0422-30-5571
・野ざきの家(小規模多機能型居宅介護事業)	三鷹市野崎 2-6-41	tel 0422-30-5575
・サポートネットあすは(移動支援[居宅介護]事業)	武蔵野市八幡町 1-6-1	tel 0422-36-5151
・あすは Kids(放課後等デイサービス)	武蔵野市八幡町 1-6-1	tel 0422-36-5151
・ショートステイさくら(短期入所事業)	三鷹市井の頭 4-22-6	tel 0422-32-3234
・つなぐなかまの家・さくらハイツ(グループホーム・ケアホーム事業)		tel 0422-30-5571(本部)

5月病などという言葉もあるこの季節…。私はどちらかというとタフなほうですが、さすがにこの時期は新年度の緊張感と多忙から、毎年力尽きそうになります。そこでここ数年は、ゴールデンウィークに仙台にいる大学時代の友人に会いに行き、リフレッシュをすることにしています。新幹線に乗り東京を離れた瞬間に旅のワクワクが始まり、そして友人に会った瞬間ふっと気持ちが軽くなるのです。時間に追われず、楽しいことに全力を注ぐ…今となっては、無理して作らないとできない貴重な時間になってしまいましたが、無理してでも、大事にしたい時間は削ってはいけないとあらためて思う旅でもありました。

(いりくらあきこ)

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21 [頒価 50円]

企画・編集 社会福祉法人おおぞら会 編集責任者: 入倉暁子

社会福祉法人おおぞら会後援会へのお誘いとお寄付のお願い

社会福祉法人おおぞら会は、障がいのある方々が地域で働き、活動し、暮らしていくための支援をし、地域の方々と共に全ての人が社会に参加できる、豊かな暮らしの実現を目指しています。後援会は会費や寄付、バザーなどで得た資金による財政援助を中心に、社会福祉法人おおぞら会の活動を支援しています。

社会福祉法人おおぞら会が運営している事業

- 生活介護事業「アクティビティセンターはばたけ」
てすき和紙、手織り製品等の製造・販売や、音楽・美術での表現活動、地域催事への参加などの活動をしています。
- グループホーム・ケアホーム事業「つなぐなかまの家」
障がいのある方が地域で暮らし、自立していくための生活の場です。
- 移動支援・居宅介護事業「サポートネットあすは」
障がいのある方の外出や家事援助のためのヘルパー派遣を行っています。
- 障害児通所支援事業(放課後等デイ)「あすは Kids」
障がいのある子どもたちの、放課後活動を支援しています。
- 短期入所事業「ショートステイさくら」
ご家族のご不在時や緊急時の一時的な宿泊をサポートします。
- 就労移行支援事業・就労継続支援B型「工房 時」
はたらくことをテーマに、うどん店舗・製麺・製菓・調理の作業を行っています。
- 小規模多機能型居宅介護「野ざきの家」
介護保険事業です。通い・訪問・泊まり の3つのサービスを組み合わせて高齢者の地域での生活を支援します。

後援会の会員を募集しています

社会福祉法人おおぞら会後援会 年会費 個人1口 2,000円 / 団体1口 10,000円

年会費はお手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。

(各事業の利用者・ご家族様には、年間10口のご協力をご依頼している所です)

郵便口座 00160-0-39163 口座名義 社会福祉法人おおぞら会後援会

ご寄付をお願いします

利用者の活動費や事業の運営に使わせていただきます。ご協力をお願いします。

社会福祉法人へのご寄付は、所得税控除の対象になります。

お問い合わせ … 〒181-0014 三鷹市野崎2-6-41

社会福祉法人おおぞら会本部内 おおぞら会後援会

TEL 0422-30-5571 FAX 0422-30-5572

<http://www.oozora.or.jp/>